

子どもの居場所づくり お役立ち相談窓口一覧

	所在地	連絡先
立ち上げや担い手募集、支援の申出など 子どもの居場所総合相談窓口	中央区富士見6-1-20 あじさい会館2階 相模原市社会福祉協議会 中央ボランティアセンター内	TEL : 042-786-6181 FAX : 042-786-6182
子どもの居場所づくりの支援について 相模原市こども・若者支援課	中央区中央2-11-15 市役所本館4階	TEL : 042-769-8289 FAX : 042-754-5112
食品衛生について 相模原市生活衛生課(食品衛生班) 相模原市生活衛生課(津久井班)	中央区富士見6-1-1 ウェルネスさがみはら4階	TEL : 042-769-9234 FAX : 042-750-3066
	緑区中野613-2 津久井保健センター1階	TEL : 042-780-1413 FAX : 042-784-1222
食品衛生責任者養成講習会について 相模原食品衛生協会 相模原食品衛生協会 津久井支部	中央区中央3-12-3 相模原商工会館本館2階	TEL : 042-750-0321 FAX : 042-755-4977
	緑区中野613-2 津久井保健センター2階	TEL : 042-780-5077 FAX : 042-780-5078
団体づくり、活動について さがみはら市民活動サポートセンター	中央区富士見6-6-23 けやき会館3階	TEL : 042-755-5790 FAX : 同上
外国につながる子どもの支援について さがみはら国際交流ラウンジ	中央区鹿沼台1-9-15 プロミティふちのペビル1階	TEL : 042-750-4150 FAX : 同上

子ども・若者の相談・支援機関のご案内

※「相模原市子ども・若者支援協議会」リーフレットより抜粋



**子どもとその家庭についての総合相談**  
妊娠・出産、育児やしつけなど、子育てについての様々な相談を電話や来所相談などで地域ごとにお受けします。  
なお、来所相談の場合には、事前に連絡をお願いします。

緑子育て支援センター TEL : 042-775-8815  
中央子育て支援センター TEL : 042-769-9221  
南子育て支援センター TEL : 042-701-7700

**対象** 18歳未満の子どもとその保護者等  
**相談日時** 月曜日～金曜日 8:30～17:00

**ひきこもりの相談**  
一次相談窓口として、ひきこもりの問題に関する相談をお受けします。

ひきこもり支援ステーション TEL:042-769-6632  
(精神保健福祉センター内)

**対象** 原則18歳～64歳のひきこもり状態にある方とその家族及び支援者  
**相談日時** 月曜日～金曜日 10:00～16:00

※18歳未満の方は、支援機関と連携の上、個別に対応を検討します。

**自立支援相談**  
生活に困っている方、生活が不安定な方の相談を受け、生活状況・課題にあった支援を行います。学習支援や若者の居場所づくりも行っていますので、進学や就職、対人関係を築くことに不安がある場合なども、ご相談をお受けします。

緑区窓口 TEL : 042-774-1131  
中央区窓口 TEL : 042-769-8206  
南区窓口 TEL : 042-701-7717

**受付時間** 月曜日～金曜日 9:00～12:00・13:00～17:00

**青少年相談・教育相談**  
不登校、登校しぶり、交友関係、いじめ、家族相談等、悩みや心配ごとについての相談をお受けします。

青少年相談センター相模湖相談室 TEL : 042-682-7020  
青少年相談センター城山相談室 TEL : 042-783-6188  
青少年相談センター TEL : 042-752-1658  
青少年相談センター南相談室 TEL : 042-749-2177

**対象** 19歳以下の方及びその保護者等  
**相談日時** 月曜日～金曜日  
(来所)9:00～17:00(要予約)  
(電話)9:00～12:00・13:00～17:00

いじめ相談ダイヤル TEL:042-707-7053

**対象** 児童・生徒及びその保護者や地域の方等  
**相談日時** 月曜日～金曜日 8:30～17:00

**さがみはら子どもの権利相談室**  
子ども専用相談電話(無料でお話できます。)  
つらいとき、困ったときは、お話を聞かせて

(なやむときは)  
0120-786-108  
大人の方は…042-786-1894

**相談日時** 月曜日～金曜日 13:00～20:00・土曜日 10:00～17:00  
※祝日と年末年始、青少年学習センターの休所日は、お休みです。



みんなで作ろう!  
子どもの居場所

[発行] 相模原市

[作成] 社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会  
相模原市中央区富士見6-1-20 あじさい会館内  
電話042-786-6181 svc4@sagamiharashishakyo.or.jp

2019年3月発行

# はじめに

## つくろう！子どもの居場所

「子ども食堂」や「無料塾」などの「子どもの居場所」は、数年前からテレビや新聞などでも取り上げられるようになり、全国的に急速な広がりを見せています。地域の大人たちが、すぐ近くで暮らす子どもの様々な状況に気づき、「私たちでできることをやってみようよ」と、自発的に立ち上げたものです。

子どもが安心して一人で行くことができ、そこでは、おいしいごはんが食べられる、勉強を見てもらえる、地域の様々な人たちとつながれる…。立ち上げるきっかけや理念が様々ですから、活動も多種多様。「子どもの居場所」には決まった形はありません。制度の縛りを受けずに、自分たちの方法で運営していることが特徴です。

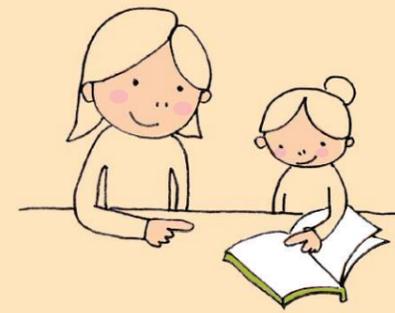
この手引は、「子どもの居場所づくりをやってみたいな」という皆さんの気持ちをちょっとだけ後押しできれば、という思いで作成しています。

## 子ども食堂とは

地域の方やNPO法人等、様々な主体が中心となって運営する、無料又は低料金で子どもたちに食事を提供するコミュニティの場。子どもが一人でも行ける場であることが特徴。子どもだけでなく、地域の人々がつながる交流拠点としての役割も期待されています。

## 無料学習支援(塾)とは

子どもたちのために、無料で学習支援を行う場。受験対応、宿題・補習、放課後の居場所、外国につながる子どもへの支援等、様々な形で開催しています。



# 子どもの居場所のつくり方

Start ? 「何がしたいのか？」からスタート!



「子どもの育ちを地域で見守りたい」、「経済力による学力の差を何とかしたい」「子育て中のお母さんを応援したい」など、子どもの居場所づくりに興味を持つきっかけは様々です。では、そのためにはどんな方法があるのでしょうか？「子ども食堂」や「無料学習支援」などの活動は、手段(方法)であって、目的ではありません。子どもの居場所をつくることで、子どもや地域にどんな変化を起こしたいのか？子どもたちと一緒に、どんな未来を描くのか？自分なりの考えをしっかりと持つこと。全てはそこからスタートします。

## Step 1 「仲間」と「情報」を集めよう！

まずは、一緒に活動する仲間を募りましょう。また、裏表紙の『子どもの居場所づくりお役立ち相談窓口』を参考に、積極的に相談に行きましょう。なるべくたくさんの「仲間」と「情報」を集め、あなたの「思い」を「カタチ」にして行きましょう！



「子ども食堂」には、調理師や栄養士などの資格のある人が、「学習支援」には、教員や塾講師経験者、教員志望の学生などがいると心強い。「料理なら任せて」「楽器演奏ができる」「習字が得意」など、様々な特技を持つ人の活躍の場としての意義も。

## Step 2 実際の「居場所」を見に行こう & 既に運営している人に聞いてみよう！

その場所は、「誰に」対して「何を」している場所なのか？実際の現場を見て、より具体的な活動のイメージを膨らませましょう。

### 忘れずにチェックしよう！

- 会場について… 立地条件、会場の広さ、駐車場の有無、施設の使用ルール、借りている時間帯など
- 内容について… 受付での確認項目、時間配分や進め方、メニューの決め方など
- 参加者について… 子どもたちの年齢層、保護者の参加、どんなふうにご覧しているか、交通手段など
- 担い手について… 何人で活動しているか、子どもの受入可能人数、事前の役割分担と当日の役割など
- 必要なものについて… 教材や食材、保管用書庫、エプロン、ゴミ袋など、運営上用意する物品

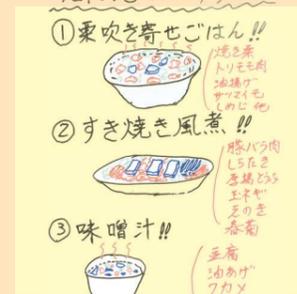
### 見学の際の注意事項

- 見学が可能かどうかは、団体によって異なります。必ず事前に連絡しましょう。見学可能な時間帯や人数、駐車場の有無などもあらかじめ確認しておきましょう。
- 当日は、子どもの対応などで忙しく、ゆっくりお話を聞けないこともあります。質問事項は、あらかじめ伝えておくか、後日あらためて回答してもらおうなど、なるべく負担をかけないようにしましょう。
- 写真撮影をする場合は、必ず事前に許可を得ましょう。撮影時の声かけも忘れずに。



見学先は、『子どもの居場所総合相談窓口』でもご紹介します。活動を始めた動機や「やりがい」、「苦労」なども聞いてみよう。

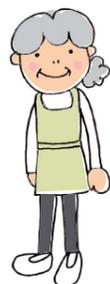




### Step 3 3 どこで、どうする？を決めよう！

開設に向けて必要なことを決めていきます。

- 内容・メニュー … 「目的」に合わせた内容を  
ex. 無料学習支援: 受験対策、放課後支援など  
ex. 子ども食堂: 孤食対策、食育など
- 名 称 … 既にある居場所の名前と似たものは、避けよう。
- 開 催 場 所 … 公民館や自治会館、個人宅、集会所、お店、会社の会議室など
- 開 催 頻 度 … 月1回～週2回程度が多い。祝日や年末年始のことも決めておこう。
- 開 催 時 間 … 買い出しや準備、片付けの時間も考慮しよう。
- 対 象 者 … 学年・年齢層、地域、学区区など。参加要件や、受入れ人数も。
- 参 加 費 … 子ども食堂は、無料～500円程度が多い。学習支援は、教科書・問題集も含め無料が基本です。
- 問合せ・申込先 … 事前申込みは？ 電話やメールなどは、公開できるものを用意しよう。



一度活動を始めたら、なるべく長く続けたいもの。そのためにも、最初は、「無理せず、できる範囲で」を心がけましょう。



### Step 4 4 団体づくりに必要なことは？

子どもの居場所を運営する組織(団体、グループ)として、少なくとも「団体名」「代表者」「活動目的(何のために)」「活動内容(何をやる)」「活動資金」については、しっかり話し合い、共有しましょう。決めたことを文書にすると『団体規約(会則)』になります。



団体のカタチはそれぞれ。最初にしっかり話し合い、共有することで結束力も高まります。特に「お金」の話は、大切…子どもの居場所の多くは、会費や参加費、市民からの寄付、行政・企業などからの補助金・助成金などで活動資金を賄っています。各種補助金については、『子どもの居場所総合相談窓口』までお問い合わせください。



### Step 5 5 事前準備をしよう！

実際に必要なコト・モノを準備します。

- 使用する食材や教材、備品等の調達 ➡ フードバンクや寄付などの活用も
- 活動を知らせるための広報 ➡ チラシ、インターネット、地域情報紙への掲載など
- いざというときのための保険加入
- 食品衛生責任者養成講習会の受講  
※子ども食堂の場合
- 受付簿(参加者、ボランティア)や入り口の掲示(看板やのぼり旗でもOK)などの準備



学校や公民館、児童館、こどもセンター、地区の民生委員・児童委員、自治会、子ども会関係者などにも活動を知ってもらい、協力をお願いしてみましょ。子どもたちへの声かけや、チラシの配布・ポスター掲示など様々な面で協力が得られることも！

### Step 6 6 子ども食堂プレオープン

計画に無理や不足がないかの確認も兼ねて、オープン前にお試しで開催してみましょ。ここで、スタッフの動きや役割分担、必要備品などの最終確認を。



気づいた点はスタッフ間で共有し、本格始動に備えましょ。子どもたちの反応も要チェックです！

### 無料学習支援 参加者・ボランティア講師の受付を開始

参加申込みを開始します。事前に、保護者と本人との三者面談を行うなどのルールを設けているところも。ボランティア講師の場合も、目的や目指す方向性をきちんと伝え、共有することが大切です。事務を担当する人や運営のボランティアも必要に応じて募集ましょ。



何を目的とする活動なのかをきちんと伝えることで、始まってからのミスマッチを防ぐことにもつながります。

### Step 7 7 オープン！

子どもたちに楽しんでもらうためにも、スタッフ自らが活動を楽しむことを忘れずに。終了後は、スタッフやボランティアと共に活動の振り返りを行います。今日の出来事や次回への申し送りなどを記録しておくことで、次回以降のより良い居場所づくりにつながります。



活動を続ける中での迷いや不安が生じたら、2ページの『スタート』に立ち戻って考えてましょ。また、個人情報や食品衛生などの関連法令を遵守し、事故のないよう、余裕を持った運営を心がけましょ。心配な点は、『子どもの居場所総合相談窓口』までお気軽にご相談ください。





# 子どもの居場所のつくり方 point整理

2ページからの「子どもの居場所のつくり方」を参考に、整理してみましょう。



## 動機

やってみようと思ったきっかけ・理由は、何ですか？



## 仲間

一緒に活動する仲間や、協力を頼めそうな相手(個人・団体・お店等)は、いますか？



## 対象

どんな子どもたちに来て欲しいですか？ ※一人で食べている子、勉強したい子など



## 内容

子どもたちと「何を」しますか？ ※食事、勉強、工作、スポーツ、季節のイベントなど



## 目的

それは、「何のため」ですか？ ※孤食対策、学力向上、子どもの安全、地域の居場所など



## 予算

どのくらいお金がかかりそうですか？ ※会場費、印刷代、保険料、食材・教材購入費など



## 資金

活動資金は、どのように調達しますか？ ※会費、寄付、助成金など



## 連携

他の組織・団体との関係づくりは？ ※自治会、子ども会、民生・児童委員、学校、公民館など

# 知っておきたい情報あれこれ

## 相模原市の「後援」

### 安心・信頼できる居場所をつくるためにも

相模原市では、「子どもの居場所づくり」を応援する後援制度を設けています。後援を取得すると、子どもの居場所づくりの活動に関する賠償責任補償、傷害補償保険の対象となったり、教材の無償貸与などの支援を受けることができます。対象となるのは、次の要件を満たす団体です。詳細は、相模原市こども・若者支援課までお問い合わせください。

団体要件	共通	児童福祉を目的としていること。
活動要件	共通	活動の際、3名以上の構成員がいること。
		団体の連絡先及び担当者を定めていること。
		利用者の名前、連絡先を登録していること。
	個人情報を取り扱う際は、個人情報の保護に関する法律、相模原市個人情報保護条例等の関連法令を遵守すること。	
子ども食堂	毎月おおむね1回以上実施すること。	衛生管理上必要な調理設備が整っている場所において活動していること。
	構成員の中に食品衛生に関する知識を有する者がいること。	アレルギー対策を講じていること。
	無料学習支援	毎月おおむね1回以上実施すること。
その他子どもの居場所づくり	毎月おおむね1回以上実施すること。	子ども食堂及び無料学習支援以外で、子どもの居場所づくりを行うもの

※「相模原市こども・若者未来局に関する事業の共催等名義使用承認取扱要綱における承認の条件について」より抜粋

## 子どもの居場所づくり 団体情報交換会

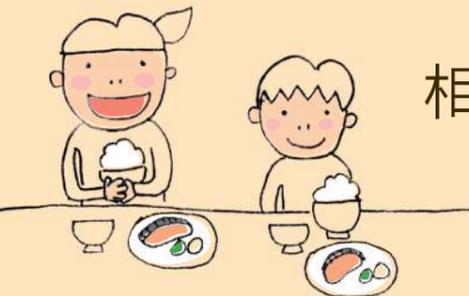
### 他団体との交流・連携のきっかけづくりの場

相模原市こども・若者支援課が主催し、子どもの居場所づくりの活動を行う団体や、市の関連部署の担当者などが集まり、日頃の活動に役立つ情報交換を、年に数回実施しています。これから子どもの居場所を立ち上げたい方の参加も歓迎です。詳細は、相模原市こども・若者支援課までお問い合わせください。

## フードバンク、フードドライブ

### 学習の合間のおやつに活用している団体も

企業や個人から、安全に問題がなくても廃棄されてしまう食品の寄付を受け、必要とする人や福祉施設などへ無償で提供する活動や、その活動を行う団体を「フードバンク」といいます。また、家庭で余っている食品を持ち寄り、フードバンクや福祉施設などに寄付することで、必要としている人に届ける活動を「フードドライブ」といいます。相模原市内でも、様々な取り組みが行われています。また、そのようにして提供された食品を、「子ども食堂」や「無料学習支援」を行う会場まで届ける団体も活躍しています。詳細は、子どもの居場所総合相談窓口までお問い合わせください。



# 相模原市の子ども居場所事例紹介

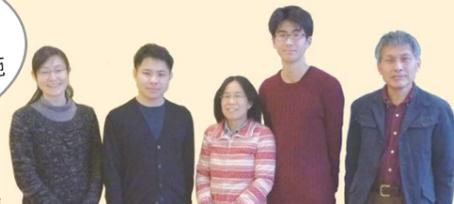
- ① 日時
- ② 主な対象者、参加費など
- ③ 活動を始めた動機
- ④ これから始める方へのメッセージ



緑区

## 相模原みのり塾 橋本公民館

高校進学を目的とした  
完全1対1の個別指導を実施



相模原みのり塾の皆さん

家庭の経済格差を教育格差にしない社会を実現するために。全ての子どもたちが、望めば学ぶ機会を手に入れる社会であってほしい。みのり塾はその一端を担っていきます。目指せ、1中学校区に1つの無料塾！

- ① 毎週日曜日13:30～ ※その他、夏・冬期講習など
- ② 経済的な理由で塾等に通えない中学生
- ③ 八王子つばめ塾で講師ボランティアをしていて、地元の子どもたちにも必要なのではないかと考えて始めました。
- ④ リタイア後や子育てが一段落したときなど、空いた時間で誰かの役に立つことがしたいと思ったら、待っている中学生はたくさんいます！応援してくれる人や、困ったときに相談できる相手もたくさんいますよ。第二の人生、始めませんか？



緑区

## くすのき広場 市営上九沢団地内

放課後の居場所  
+  
学習支援  
+  
子ども食堂の多機能型



くすのき広場の皆さん

地域の子どもたちの声に耳を傾け、大人と子どもの信頼関係を育む場所を目指して。学生から高齢者まで、幅広い年代のボランティアが、子どもたちとにぎやかに過ごしています。クリスマスやハロウィンなど、季節のイベントも大人気です。

- ① 第1～3月曜日15:30～
- ② 地域の子どもたち
- ③ 地域コミュニティのつながりの低下により、「地域が子どもを育てる」ことが機能しなくなっている。子どもを通じて地域の人が出会える場、地域で子どもの育ちを見守る場を作りたい。
- ④ 5年前、何もわからず始めた子どもの居場所づくり。大勢の方の応援が驚くほどありました。世の中で必要な事は、必ず理解されます。まずは、一歩前に進む事です。5年やると見えて来る事がありますよ！子どもたちの成長が我が事のように楽しみです！



中央区

## みたけ子ども食堂 特別養護老人ホーム みたけ 主催:社会福祉法人 東の会

社会福祉法人の地域貢献  
活動、多世代交流の場にも



みたけ子ども食堂の皆さん

社会福祉法人として、地域の中で日常の困りごとを気軽に相談できる場、子どもたちが安心して立ち寄れる場となることで、地域福祉活動の一端を担っています。

- ① 毎月1回 日曜日15:00～ ※冬季12:00～
- ② 中学生までと75歳以上無料、大人300円 ※高校生・大学生のお手伝いは、無料
- ③ 社会福祉法人の地域貢献活動として、「食」をテーマにした取組ができる！と思ったことから。
- ④ やってみようかな…と悩んでいる人は、是非仲間を見つけてやってみてください！地域への視点が変わり、活動が楽しくなること請け合いです！



中央区

## こども広場ウェルカム 千代田4丁目自治会館

書道教室や季節のイベントも  
不定期に開催！！



こども広場ウェルカムの皆さん

教員経験者や大学生、社会人など様々な立場のボランティアが、保護者や子ども一人ひとりの持つ悩みに寄り添い、見守る場にもなっています。一緒に勉強したい子は、地域や学年問わず誰でもみんなウェルカム！

- ① 毎週水曜日・隔週土曜日16:00～
- ② 地域や学年問わず
- ③ 子どもの未来を拓いていくために、子どもたちの尊厳を守るために、子どもたちに生きる力をつけるために。準備に数年かかりましたが、地域に様々な協力が広がっています。
- ④ 事前の準備がとても大切！誰かに言われてやるのなら、やめておいたほうが良いですよ。まずは、自分の思いを共有できる仲間・スタッフを集めることから始めましょう。



- ① 日時
- ② 主な対象者、参加費など
- ③ 活動を始めた動機
- ④ これから始める方へのメッセージ



地域がより安心できる居場所となることを目指して

## 中央区 ふちのべ学習教室

さがみはら国際交流ラウンジ

主催:さがみはら国際交流ラウンジ 外国人教育支援グループ



外国人教育支援グループの皆さん

外国につながる子どもたちの日本語習得や宿題支援、受験対策など、幅広いニーズに対応しています。必要に応じて保護者(家庭)の支援も行っています。

- ① 毎週月・火・水曜日18:00～
- ② 外国につながる子どもたち

③ 25年ほど前、インドシナ難民や外国人労働者が急増しました。その子どもたちの学習や生活の支援のために、この活動がスタートしました。その中で、日本語が上達し、学校の中で楽しく学べ、友達と親しく交流できる力を身につけて欲しいと願いつつ、活動を継承しています。

④ 平仮名も読めない・書けない子、学校の宿題をする子、高校受験を目指して学習している子など様々です。その子に合わせた指導をしています。息の長い支援をお願いしたいです。是非一度見学に来てください。



南区

## 新磯みんなの食堂さくら

個人宅(南区新戸2479)

孤食対策や食育にも力を入れています!



代表久保田さん、栄養士島さん

地域の皆さんにほっと一息つける場と、おいしい料理を提供しています。栄養士がメニューを考え、ボランティアが腕をふるうお料理は、おいしくて栄養バランスもばっちり!

- ① 第1・3水曜日17:00～ ※夏・冬・春休みは、お昼にも開催
- ② 小・中・高校生100円、大人300円、未就学児無料
- ③ 様々な理由からきちんとした食事が取れない子どもがいると聞いて、また、働くお母さんや子どもたちに、月に2回だけでも野菜たっぷりの手をかけた料理を食べて欲しいと思って始めました。必要としている人が誰でも参加しやすいように、「みんなの食堂」と名付けました。
- ④ まず、場所の確保が必要。無理をすると続かないので、自分からやりたいと言ってくれる人・協力者を募ることが大切です。



決めたことを記入しましょう。

居場所名			
運営団体	名称		代表者
	住所		連絡先
活動目的			
開催場所			
開催頻度	毎月 / 毎週	回 (月・火・水・木・金・土・日)	
開催時間	備考: 年末年始は	その他:	
主な対象	未就学児 / 小学生 / 中学生 / 高校生 / 学年問わず		
	地域限定( ) 参加条件あり( )		
参加費	無料: 歳まで		
	有料: 歳まで 円、 歳まで 円、その他 円		
主な内容	食事提供 / 学習支援 / レクリエーション( )		
	その他( )		
問合せ先	担当者		メール
	電話		その他
事前申込み	不要: 当日受付にて、氏名・連絡先・アレルギー有無・その他( )を確認 必要: 開催 日前までに、電話・メール・その他( )にて申込み その他:		
オープン	プレオープン:	月 日( ) 時から 時まで	
	本格オープン:	月 日( ) から定期開催スタート!	

神奈川県食品衛生協会  
「食中毒予防マニュアル」より

つけない

ふやさない

やっつける

- 洗う ... 食品や手、調理器具をしっかりと洗う。
- 包む ... 食品は、ラップなどに包んで保存する。
- 温度管理 ... 食品は、冷蔵庫に保存する。
- 早く食べる ... 料理は、できたてを食べる。
- 加熱 ... 食品内部まで十分に加熱する。
- 調理器具 ... 消毒は、定期的。

